



ALCワンデーシステム

新築(ALC面・PC面・RC面)の塗装に最適な塗装システムです。

特長

- ① 2工程で仕上げることができ、工期の短縮が可能です。
- ② 新築(ALC面・PC面(普通コンクリート)・RC面)への付着性にすぐれています。※
- ③ ALC面の目止めをし、粗面素地を平滑にします。
- ④ 弾性機能があるので、クラックに追従します。
- ⑤ 耐久性にすぐれています。
- ⑥ 防藻・防かび性があります。
- ⑦ 水性のため非危険物で取り扱いやすく安全です。

※PC面・RC面は普通コンクリートに限ります。軽量PCやアーキコンクリート、GRC、押し成形板には塗装できませんのでご注意ください。

標準塗装仕様(新築)

■ ローラーのみがた仕様

工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。(含水率10%以下、pH9以下)						
下塗り	ニッペ ALCワンデーフィラー	1	0.30~0.50	3時間以上	水道水	0~2	ウールローラー
上塗り	ニッペ ALCワンデートップ	1	0.80~1.00	—	水道水	0~2	砂骨ローラー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)

ニッペ ALCワンデーシステム

■ 適用下地 [新築 (ALCパネル面・PC面 (普通コンクリート)・RC面)]

■ 容量・荷姿

塗料名	容量	色相	つや	名称
ニッペ ALCワンデーフィラー	20kg	ホワイト ※淡彩	——	特殊アクリル系樹脂エマルジョンフィラー
ニッペ ALCワンデートップ	15kg	各色	つや有り・5分・つや消し	新築外壁専用水性厚膜仕上げ材

※色によっては調色扱いとなり、材料が割高になったり、納期までにお時間がかかる場合があります。それぞれの地域によって異なりますので、ご発注の際にご確認ください。

■ 施工上の要点及び注意事項 (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

1. ウールローラーで塗装する場合、規定の使用量を確保するために中毛〜長毛のローラーを使用してください。

【下塗り (ニッペ ALCワンデーフィラー)】

1. 異物を混合しないでください。
2. 機器および道具類の使用後は、そのまま放置しないで水につけ、その後必ず水洗いしてください。塗料が付着したまま放置して乾燥しますと、こびりついて取れなくなります。
3. スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業効率の低下および塗りむらの原因になります。
4. 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
5. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
6. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
7. 塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り隅まで入れてください。
8. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
9. 開封後は皮張りしやすいので、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを避けることができます。

【上塗り (ニッペ ALCワンデートップ)】

1. 弾性塗料は塗膜がひび割れでクラック追随性を有しますが、地震・台風・軟弱地盤など予想を越えた震動、従来の壁と違った特殊構造 (特殊な力) などにより、本来のクラック追随性を発揮できない場合があります。
2. 塗膜の伸長性は中塗りの使用量によって異なりますので、中塗りは規定の使用量を塗装してください。
3. 塗装後、養生テープはナイフカットして取り外してください。
4. 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものではありません。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
5. 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れない場合があります。
6. 著しい汚染が発生しそうな箇所には、状況に応じてニッペクリスタコートオーバーコート剤として塗装することで汚染を軽減することができます。
7. 色相によっては降雨、結露によってぬれ色になる場合がありますが、乾燥すると元に戻ります。
8. 乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
9. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後ははけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。
10. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材 (ニッペ 1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200) などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
11. 葎木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
12. 上塗りに冴えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
13. 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
14. 濃彩色や冴えた原色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性がある部位には使用しないでください。なお、状況により常時接触するような箇所を使用する場合は、フラインジコンプレッシュリキヤーを上塗りに塗装してください。

15. 可塑剤が多く含まれる塩ビ珪鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。

【仕様全般】

1. PC面・RC面は普通コンクリートに限ります。軽量PCやアーキコンクリート、GRC、押出し成形面には塗装できませんのでご注意ください。
2. 絶えず結露が発生するよう用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶性成分が表面に溶出し、粘着物などとなって析出するおそれがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
3. 塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後拭き除去してください。
4. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じる場合がありますが、時間とともになくなります。
5. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下 (ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下 (ケツ科学社製Hi500シリーズ: コンクリートレンジで測定した場合) の条件で塗装してください。
6. 表面のこみ、ほこり、エプロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
7. 開封後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
8. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
9. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
10. 大面積の塗装では換気を行い、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
11. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
12. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペ プリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
13. シーリング面への塗装は内容物が均一になるようにはくはんでください。薄すぎは隠れい不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
14. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
15. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
16. 汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
17. 使用前に内容物が均等になるようにはくはんで、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
18. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。
19. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

■ 安全衛生上の注意事項 ニッペ ALCワンデートップ

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
3. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分にしてください。
4. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
5. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
6. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください
7. 気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
8. 口をすすいでください。
9. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
10. 吸入した場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。
11. 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
12. 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。

13. ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡してください。
14. 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当を受けてください。
15. 施錠して保管してください。
16. 直射日光や水濡れは厳禁です。
17. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
18. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上 (スプレー缶の場合は40℃以上) の温度にばく露しないでください。
19. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
20. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。
21. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

警告		危険有害性情報	強い眼刺激 / 臓器の障害のおそれ (単回ばく露) / 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ / 水生生物に有害 / 長期継続的影響によって水生生物に有害
----	---	---------	---

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101 近畿支店 ☎ 06-6455-9608
 東北支店 ☎ 022-232-6712 中国支店 ☎ 082-281-2180
 関東支店 ☎ 03-5479-3614 四国支店 ☎ 0877-56-2346
 北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614 九州支店 ☎ 092-751-9861
 中部支店 ☎ 052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
 ●©Copyright 2019 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
 ●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-X119

AA191203T
2019年12月現在